

♪ 2019年度 **poco a poco** ♪

Nr. 7 2019年7月1日(月)

文責:プファイル・辰巳

## 急に真夏!?

先週は、暑い暑い1週間でした。暑い中、七夕集会があり、5年生の宿泊学習もありました。今週は中学部の期末テスト、小学部4年生の宿泊学習ですね。ドイツは一日の中でも気温差が激しく、暑くなったり、涼しくなったり、体温の調節が難しいですね。水分補給をしっかりと、夏バテしないように気をつけましょう。そして、1学期末を元気に乗り切りましょうね!



## ミニコンサート、締め切り間近!

ミニコンサートの申し込み締め切り日は、今週の7月4日(木)です。小学部4年生のみなさんは、その日から宿泊学習ですので、3日までに申し込みを終わらせるようにしてください。

プログラムは、遅くとも7月9日(火)には配布したいと考えています。(プログラム作成、調整、確認のためどうしても数日必要です。ご了承ください。)

## 音楽こぼれ話 <大作曲家の家族たち ③ ヴェルディの妻

### ジュゼッペの妻の名はジュゼッピーナ>

ジュゼッペ・ヴェルディは19世紀のイタリアを代表する作曲家で、「ナブッコ」「リゴレット」「椿姫」「アイダ」などのグランドオペラを作曲しました。そのヴェルディの二人目の奥さんになった女性がジュゼッピーナ・ストレッポーニという人でした。旦那さんがジュゼッペで奥さんがジュゼッピーナ!?! まるでオペラ「魔笛」に登場するパパゲー

ノとパパゲーナみたいだなあ、なんて思ってしまいました。

さて、そのジュゼッピーナ・ストレッポーニという女性ですが、1815年(ヴェルディより2歳年下)ミラノの近郊ローディという町に生まれました。お父さんも音楽家でモンツァ大聖堂のオルガン奏者でした。ジュゼッピーナもミラノ音楽院でピアノと声楽を学び、ソプラノ歌手として1834年にデビューしました。

北イタリア各地のオペラ座でロッシーニやベッリーニの作品を歌う中で、特にベッリーニの「夢遊病の女」のアミーナ役で大成功し、彼女の十八番になりました。1839年からは、ミラノ・スカラ座のプリマ・ドンナとしても活躍しました。

ソプラノ歌手としての実力に加えて容姿端麗でもあったそうで、男性オペラ歌手や劇場支配人などとの数多くの恋物語も噂されました。そんな中、1840年頃、ジュゼッピーナとヴェルディは出会ったそうです。当時はヴェルディの妻マルゲリータは存命だったのですが、その後相次いで妻も息子も亡くなってしまいます。作曲家としても失敗して失意のどん底にいたヴェルディでしたが、1842年、ジュゼッピーナをアビガイル役に据えたオペラ「ナブッコ」が出世作になります。

しかしながら、このアビガイル役は喉を酷使する難役で、それがもとでジュゼッピーナは早々に現役歌手を引退、声楽教師にならざるを得なかったようです。ヴェルディとはこの頃から同居生活が始まり、ジュゼッピーナはヴェルディのアシスタント兼マネージャー兼通訳も務める才女ぶりを発揮しました。なかなかジュゼッピーナとの再婚に踏み切れなかったヴェルディでしたが、1859年、ようやく45歳と43歳という年齢で二人は結ばれます。結婚後もジュゼッピーナは、奥さんとしてだけではなく、ヴェルディの仕事上のパートナーとして重要な役割を果たしました。

ヴェルディの方も恋多く、その後第3の女性(テレーザ・シュトルツ)が現れたりもしましたが、夫婦別れをすることもなく、ジュゼッピーナは82歳まで、ヴェルディは87歳までと、二人とも長生きをしました。

ヴェルディ夫妻はミラノに現存する音楽家のための養老院「憩いの家」の建設に尽くしましたが、ジュゼッペとジュゼッピーナはこの養老院内の霊廟に並んで葬られているということです。

## ほんのちよっただけ 演奏会情報

ヘッセン放送局オーケストラ 恒例 夏のオープンエアコンサート

2019年8月22日(木) 20時15分 マイン河畔(Weseler Werft)で